

# の条々の矛盾もろもろ

「防衛省は防衛力増強を主張する一方で、憲法第9条の平和主義を堅持する」という矛盾を指摘する。憲法第9条は「日本国は、戦争の放棄、戦力及び戦艦の保有をしないことを誓う」と規定している。一方、防衛省は「防衛力増強を主張する一方で、憲法第9条の平和主義を堅持する」という矛盾を指摘する。

## 南スーダン陸自部隊「日報」

南スーダンに展開している自衛隊部隊は、現地メディアを通じて「日報」を出版している。この「日報」には、部隊の活動状況や、現地の状況に関する情報が掲載されている。また、部隊員からの手紙や、現地の生活の様子も紹介されている。



南スーダンに展開している自衛隊部隊は、現地メディアを通じて「日報」を出版している。この「日報」には、部隊の活動状況や、現地の状況に関する情報が掲載されている。また、部隊員からの手紙や、現地の生活の様子も紹介されている。

# 稲田防衛相 憲法もてあそぶ



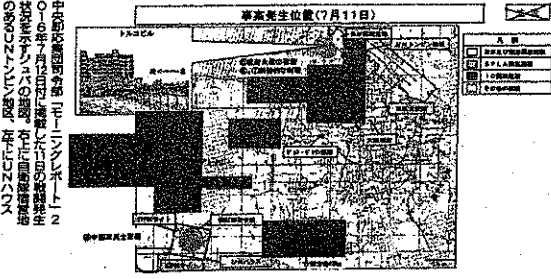
南スーダンPKO（国連平和維持活動）部隊に参加する自衛隊員。背景には自衛隊の旗が掲げられている。

稲田防衛相は、憲法第9条を「もてあそぶ」と批判されている。彼が主張する防衛力増強は、憲法第9条の平和主義と矛盾している。また、自衛隊の活動範囲を拡大し、海外展開を推進している点も、憲法第9条の趣旨に反していると考えられている。

## 「戦闘を確認」と報告

国連部隊に死者、自衛隊にも被害の危険

南スーダンに展開している自衛隊部隊は、現地メディアを通じて「日報」を出版している。この「日報」には、部隊の活動状況や、現地の状況に関する情報が掲載されている。また、部隊員からの手紙や、現地の生活の様子も紹介されている。



年月日	時間	内容
2016年7月10日	午前9時8分	南西150枚付近でSP7A車両が何隻かに銃撃を受けた模様
	9時22分	2機の攻撃ヘリが離陸、低空にて9時方向（西）へ移動
	11時8分	トルコビル（自衛隊宿营地に近接）南側付近で小銃及び迫撃またはRPG（携帯式対戦車ロケット弾）の射撃音確認
	11時11分	ウエストゲート付近で激しい戦闘音確認
	午後0時21分	トルコビル左下に榴弾、ランチャーと投られる
1時39分	宿营地南側方向、連続的な射撃音	
5時43分	T K（戦車）、トルコビルに対し戦車砲を射撃、トルコビル西端に命中	
7月11日	午後1時15分	宿营地外近傍施設（UNトンジン外）への直射火器の榴弾を連発
	7時33分	宿营地南側方向で曳光（えいこう）弾による射撃を確認
	8時13分	宿营地南側～西側方向で断続的な射撃を確認

中央防衛集団「モーニングレポート」 戦場の施設隊からの情報から作成